



思えば いと疾し

打瀬小学校長 溜 昭代

かつての卒業式の定番だった「仰げば貴し」、「蛍の光」は、歌われなくなったようです。

その理由の一つに、「仰げば貴し」と生徒に歌わせるのは気恥ずかしいと思う教師の遠慮(?)があると同時に「師恩」を感じる生徒もいなくなったのでしょう。「三尺下がって師の影を踏まず」と教わったのは、遠い遠い昔のこと。まさに「歌は世に連れ」です。

二つには、文語の歌詞の意味が教師にも分からないからです。20年前に「思えばいとし この年月」の意味を若い教師に聞いたら、「いとおいしい」、「いとしい」と解釈して「可愛い」とか「不憫だ」とか考えていたようです。「いとおかし」の用例のような「いと」と「疾し(速い)」と思いつけば、「思えば大変速かったなあ この年月は」となるのですが・・・。同じように「蛍の光」の最後の歌詞、「さきくとばかり 歌うなり」も、若い人が「お先に行きます」とか「先駆けする」と答えてくれて笑ってしまいました。「さきく」は「幸く」、「お幸せになりますように」「ご無事でありますように」と歌ってくださいね。

さて、打瀬小学校は、3年前の平成7年4月5日に児童数131名(2年28名、3年24名、4年30名、5年24名、6年25名)で開校しました。翌々日の7日が入学式。38名の1年生を迎え、児童数169名、教職員数15名、総勢184名でスタートをしたのでした。

(2面につづく)

ベイトウンブリッジ完成



車椅子でも楽に登れるゆるやかなスロープの坂

エレベータを設置したバリアフリーの設計

幅4m、車道からの高さ6mの石畳をひいた道路、夜はフットライトの照明が足下を照らします。

海浜幕張公園へつづく扇状の階段

平成11年7月、プロムナードから海浜幕張公園へ連絡デッキが開通します。プロムナードから少し坂を上り、登り切ったところに新しいSH-1街区のお店への出入口があります。この坂は車椅子で上るには少し勾配があるので、エレベータ(!!)が設置されています。橋は公園内の道路とゆるやかなスロープで結ばれており、こちらは車椅子でも楽に登れます。これで駅までの朝のダッシュも少しはいい記録がでそうかな。この橋には残念ながらまだ名前がありません。そこでベイトウン住民で勝手に名前をつけてあげましょう。公式名称がなんであれ、通称として通ってしまえばそれが名前として定着します。各コンビニ設置の投書箱に愛称を記入して投函して下さい。こむこむでは審査などいっさいしませんが、投書された名前の発表は行います。いい名前であれば、公式名称として採用されるかも??

私は、打瀬小学校を「未来の卵」、子供達を「未来からの留学生」と考えました。未来からの留学生たちが未来の国で活躍できるように、学校づくりや教育の方法を「これまでは」とか「普通は」の縛りから解き、「これからは」の視点から選びました。そして、その年の6月から学校だよりを打瀬の街の全世帯にお配りして、打瀬小学校のあれこれをお知らせしたり、行事にお誘いしたり、校章や校歌の制定にご助力願ったりしました。幸い皆様のお目にとまったと見えて、随分とお力を貸して戴きました。ありがとうございました。心からお礼申し上げます。

30名だった当時の4年生は、70名に増え今年の3月20日に卒業しました。

彼らに打瀬小にきてよかったことを聞きました。

- ・フレンドがあっという間いろんな学年と遊べる場所、仲よくできる場所
- ・自分で考える力がついた
- ・クラスの境がないので、学年みんなと仲良くできる（打瀬小でしかできない）
- ・校風がかなり自由で、自分で考えて行動できたこと
- ・いろんな国の文化に触れたこと。違う学校と交流できたこと
- ・「うたせ学習」という普通の学校ではできないことができたこと
- ・全校児童が卒業式、入学式を企画し、出席するので皆に祝福されている感じ
- ・宿題がない
- ・チャイムがないので自分で時間管理をするようになった

「21世紀の学校かくあるべし」と有識者にお褒めの言葉を頂戴した学校づくりでしたが、何より嬉しいのは、「自分で考える力がついた」と自覚した卒業生がいたことです。「子供に生きる力を」が打瀬小のねらいですが、生きる力のポイントは、(1)やる気（意欲）、(2)自分で考える、(3)他と共に生きることでしょう。自分で考える力を育てるためには、子供が自ら選べる場と機会を保証しなければなりません。打瀬小はそれを「バリアフリーな教育環境」といって創造してきましたので。

打瀬小の土台づくりの3年間、今、思えば「いと疾し」に尽きます。「今こそ分かれめ（分かれ目ではありません。意志の助動詞"む"がこその係り結びで"め"になっているのです。"別れよう"と私は解釈しています）いざさらば」と「仰げば貴し」のメロディーで歌います。

「今こそ分かれめ いざさらば」

小学校の溜先生がおやめになる。恐れていたことが遂に現実となりました。打瀬小学校といえども公立の小学校、いつかは先生の離任もあるかも知れない。しかし未来教育の実践の場としての打瀬小学校、何か特別な措置でもあるかも知れない、そんな期待もありましたが……。思えば溜先生は打瀬小学校とベイトウンを全国区とした最大の功労者であり、今風に言えば「ベイトウンの生んだ最初のスター」（ベイトウン某有名人のことば）であります。ベイトウンニュースにも創刊からご尽力をいただき、学校を核とした街作りのためにと、毎月学校関連の記事を戴くことを二つ返事で受けていただきました。改めてお礼を申し上げます。溜先生。プロムナードをさっそうと歩く先生の姿は忘れません。また、帰ってきて下さい。 編集局員一同

打瀬中学校まわりの道路をゲートで夜間閉鎖します

打瀬中学校の外周道路は本来中学校の周りに建設される住宅のために開通されたものですが、現在は利用するものがないため、夜間等ナンパ族の格好の遊び場となっています。このため中学校の先生方は早朝より学校周りの道路を清掃するという事態が続いていました。ベイトウン内の補導委員や自治会連合会でもこの件には頭を痛め、昨年夏に行った夜間パトロールでも中学校周りは特に重点的に行いました。同時に企業庁および警察には夜間封鎖を訴えて来たのですが、道路管理上の問題があり、実現していませんでした。しかし今回、自治会連合会の交通委員会（あの休日の早朝から駐車違反の呼びかけをしている優しいオジサン達）と中学校の熱心な働きかけにより、企業庁および警察も状況を理解し、夜間封鎖実現となりました。一旦供用開始となった道路を閉鎖することは余程の理由がないと難しいのですが、治安上の問題解決の優先で企業庁も千葉西警察署も理解を示し、9時～17時まではゲートを開け、夜間は閉鎖することで、ようやく実現に漕ぎ着けました。実現までには他にも様々な問題があり、それらを一つ一つ解決するため何度も西警察署で、企業庁、警察、中学校、自治会連合会がミーティングを持ち、関係者の皆様には年度末の忙しい時期にも係わらず相当な尽力をいただきました。誌面を借りてお礼を申し上げます。

今後は、ゲートの定時の開閉は平日は中学校で行い、休日や夏休みの一時期は自治会連合会と中学校の関連機関（青少年育成委員会等）でゲート開閉の管理を行うこととなります。ゲートは企業庁が工事をしてくださいました。誌上で外観等を紹介できないのが残念ですが、このニュースが配布されている頃は工事もう完了しているでしょう。実物で確かめて下さい。本来開かれた中学校である打瀬中学校に、外部からの侵入者を排除するような設備を設けなければならないこと自体、とても残念なことです。中学校に地域の人が沢山訪れ、中学校の周りに人の目が行くようになると、ナンパ族が集まるというような問題もなくなります。中学校周りのお花畑はそのためにもあるのです。このゲートが不要となる日が早く来ることを願っています。



前号でもお知らせしましたが、'98 ベイタウンまつりに向けて、各種イベントの準備が着々と進められています。

今回は、まだ間に合う住民参加のイベントをご紹介します。いっしょに盛り上がる最後の(?)チャンスです。

住民文化展覧会

文化スポーツの会では、住民の皆さんの作成した絵画、彫刻、書道、刺繍などの作品を募集しています。応募は、文化スポーツの会委員長内田隆(＃10-107, TEL:211-0933)まで。締め切りは、4月15日(水)です。



フリーマーケット

下記要領で出店者を募集しています。ご家族やグループで、ぜひご参加下さい。

- 日 時：5月9日(土) 午前10時～午後3時
(雨天の場合は翌日10日に順延)
- 場 所：ベイタウン・プロムナード(予定)
- 出店資格：営利を目的としないベイタウン居住者(小学生は保護者同伴)。
プロの参加はお断りします。
- 出店品目：家庭で不用になった日用品・衣類・小物、趣味の手作り品他(細かな規制は考えておりませんが、食品・医薬品・動物・大量仕入れ品のほか、法令上で規制のあるものは出品をお断りします)
- 出店料：1区画300円(当日登録時に徴収し、運営コストに充当させていただきます)
- 申込み：住所・氏名(グループの場合は代表者)・電話番号・主要出店品目を明記のうえ、以下の担当のメールボックスに入れて頂くか、官製はがきでお送り下さい。
締め切りは、4月15日です！

お問い合わせは、ベイタウンまつり事務局フリーマーケット担当/吉識渉(美浜区打瀬1-4パティオス8番街324号, TEL&FAX:211-1529)まで

番街対抗つなひき大会

- 『日本綱引連盟』の競技規則を参考にしたローカルルールで第1回のベイタウン・チャンピオンを競います。
 - 1チーム14名編成(登録は最高30名まで)
 - 小学生6名[男女を問わず]
 - 一般(中学生以上)8名[男女各4名]
 - 予選として、ベイタウン全体を4ブロックに分け、リーグ戦を行います。
 - 各ブロック上位2チームによる決勝トーナメント戦を行い、優勝・準優勝を決めます。
 - 『つな』は実行委員会であらかじめ用意します。
- なお、エントリー方法の詳細は後日各番街掲示版に掲示します。
- お問い合わせは'98 ベイタウンまつり実行委員会/佐藤総一(＃17-214, TEL&FAX:212-5630)まで。

これらの企画のほか、バーベキュー、焼きソバ屋、ぜんざい屋、軽食・スナック店、グラウンドゴルフ模擬プレー、囲碁講習会など、住民の、住民による、住民のための企画が盛りだくさん。みんなでベイタウンまつりを盛り上げ、成功させよう！

ベイタウン記録写真コンテスト

私たちベイタウンニュース編集局が主催して、幕張ベイタウンの「いま」を記録する写真展(写真コンテスト)を企画しています。すでに前々号(2月発行)で作品応募を呼びかけましたが、現時点では「ほとんど」応募がありません！今一度ご案内しますので、奮って参加下さい(このままだとこの企画自体ボツになりそう…)。

- 応募資格：ベイタウンに関連するものなら、どんなものでも結構です。
- 表彰：優秀作品には、本誌に掲載し褒め称えるという「名誉賞」が与えられます。また、編集局で企画検討している「ベイタウン絵はがき」が実現したあかつきには、入賞作品を採用させていただきます。
- 選考基準：写真展を見に来てくれた人の投票を基準として、記録性を重視して編集局が選考します。
- 応募方法：作品・作品に関するコメント・お名前・連絡先を合わせて、以下のニュースサポーターのメール・ボックスまで投函して下さい。応募作品は返却できませんので、大事な作品は焼き増しの上ご応募下さい。締め切りは、4月15日までに延長します。

＃1-210 板東、＃2-610 織間、＃3-310 佐藤、＃4-302 星、＃5-205 田村、＃6-207 君島、＃7-301 茂木、＃8-504 辻、＃9-301 浪岡、＃10-612 松村、＃11-512 小谷崎、＃12-108 米谷、＃16-417 永田、＃17-214 佐藤、＃18-104 飯田

ベイタウン保育日記5 こざくら第二幼稚園

1年間を通じて、とても行事が多く、親子共々思い出がたくさん作れる幼稚園だと思います。中でも一番印象的なのは、冬に行われるマラソン大会です。3学期になってから一ヶ月近く練習をし、2月1日の本番に向けて、皆小さい体で一生懸命頑張ります。そして、当日も皆、最後まで走りきったので、応援している方は、とても感激してしまいます。本当に色々体験させていただいています。

1. 保育時間

平日（月・火・木・金）9：00～14：00 半日（水・土）9：00～12：00

2. 制服

紺のブレザー、紺のタータンズボンとスカート

3. 場所

検見川浜駅から徒歩5分
取材／ミラリオ3番街 田辺雅子



グランドゴルフで

打瀬小の子どもたちと生き生き交流

昨年11月21日と今年に入って2月21日の2回、打瀬小学校の特別クラブ「レッツグランドゴルフ」に招かれて、4、5、6年生各30名にグランドゴルフを教えに出かけました。（メンバーは松村慧子、林暁、原静香、清水康、矢島昌子、林郁子の6人）

初回はあいにくの雨で室内でのプレーでしたが、2回目は青空のもとホールインワンに歓声が沸き上がるたびに、私たち中高年の会員もさわやかな喜びを分かち合うことができました。グランドゴルフは毎朝校庭を借りて、少人数ながら仲良くプレーを続けています。その様子を見ていた先生方からのお招きで生徒たちに教えることになったのですが、卒業式にもお招きいただき、ワクワクしながら学校へ出かけました。

70名の卒業生を見送ったわけですが、卒業生全員が「私のプロフィール」を述べた後、国歌斉唱、卒業証書授与、「翼をください」「トゥモロー」、そして在校生の「ありがとう、さようなら」と歌が続き、校歌斉唱で終わりました。生徒の手作りの卒業式、実に清々しく温かい式で、昔の卒業式しか知らない私にはすべてが驚きと感激のひとつときでした。中でも、溜校長の式辞では、生徒を心から愛おむ気持ち持が伝わってきて思わず涙が流れました。

平素の「うたせ学習」の姿勢がそのまま生徒の姿に現れていて、打瀬小は幕張ベイタウンの街に住む私たちの宝物だという思いを新たにしました。

3番街
601号
林郁子



編集長、横浜国際競技場へ行く調子に乗って第3弾です。

3月1日にサッカーダイナスティカップの日本対韓国戦を応援するため、横浜国際競技場へ行って来ました。競技場のこけら落としと、W杯イヤーでサッカー気運が盛り上がる中、7万人分の前売りチケットが完売していたのですが、当日は残念ながら大雪でお客さんの出足も鈍りがち。それでもサッカーイベントとしては過去最高の5万9千人強の観客がつめかけました。屋根付きで最新設備の競技場はなかなか良かったのですが、一番高いS席や記者席が屋根に覆われておらず、びしょぬれだったとか。施設づくりは、ひとりよがりにならず、よくよく使う人のことを考えて行うことが大事です。計画が遅れつつあるコミュニティコアについても、利用者側の立場でじっくり考える良いチャンスということではないでしょうか？

編集：1番街210号室板東 司

(T&F:211-0289 / e-mail:tbando@dp.u-netsurf.or.jp)

前号の懇談会の記事で、左の段の最終行「養原 立体駐車場がめんどうだから路上駐車するというのは住民」の1行が抜けていました。また、養原先生のお名前がまちがっている箇所がありました。訂正しお詫び申し上げます。本業との掛け持ちとはいいながら、最近ミスの多さが気になります。ほとんどが編集委員のいい加減な性格が原因ですが、校正の時間がとれるよう原稿の早めのアップを心がけたい…と思っています。

先日、帰りの電車の中での出来事。小さな子供を連れた母親が混んだ中で疲れた様子でうずくまっていた。前の座席には、どっかり座り込んだサラリーマンが週刊誌を読んでいます。席を譲ろうなどという気配は皆無。心が何も感じなくなっているのでしょうか。と思って見ていたら「海浜幕張」で降りてゆきます。ベイタウンの住人だったのです！人の痛みを感じられないのは今問題になっている子どもたちだけではありません。

タウンスケッチ記者：3番街310号佐藤則子

(T&F:211-0090)

3月に入りベイタウンのまわりでも雲雀の声が聞こえるようになってきました。3月は人事異動の季節。ひばりの声と共に多くの人が去り、多くの人がやってきます。公務員の任期が普通3年のようなので、3年を過ぎたベイタウンでは今年は大きな移動がありそうです。最大の移動は1面にも紹介した、打瀬小学校、溜校長先生の退官でしょう。企業庁でもベイタウンのために尽くしてくださった方々の転任がありそうです。皆さん本当にありがとうございました。

溜先生に習って、「またいつか見ん この別れ」

技術：10番街612号室松村守康

(T&F:211-6853/m-matz@mxq.meshnet.or.jp)

本業が決算期を控え猛烈に仕事が忙しくなり、てんてこまいしています。今月号の編集には他の編集委員に負担をかけてしまいました。

街にはスーパーもできまし、新しい街のモデルルームも週末は盛況で胸をなで下ろしています。継続的な街の発展の為には、この街の当初の計画人口に少しでも早く近づくことが課題となります。それにしても、なりふり構わぬ販売戦略では困ることだってあるのです。私たちの良きパートナーである千葉県企業庁の方々と、いかに真剣に付き合い話し合っていくかが課題になっていきます。住み良い街は与えられるものではなく、自分たちが築いていくものだと思います。

企画：3番街220号室金一剛

(T&F:211-0388/ikkim2xa2.so-net.or.jp)

"わくわく発表会"／地域の先生を招待して／



打瀬小から
教頭 宋倉 喜巳

3月17日(火)に1年生が学習発表会を行いました。生活科の学習でお世話になった地域の先生方をお招きして精一杯の演技。どの子の顔も輝いていました。子供たちの感想を紹介します。

なわとび

わたしは、わくわくはっぴょうかいでなわとびをしました。1ばんめにやったからすこしドキドキしたけどうまくとべました。わたしはあやとびをしました。

ののむら ひさ

どきどきはっぴょうかい

わたしは、3月にいろいろなはっぴょうをしました。わたしは、本よみをしました。すごく、どきどきしました。でも、じょうずにつかえないでよめました。わすれな草をよみました。おきやくさまが、いっぱいはくしゅをしてくれて、とってもうれしかったです。

ふじかわ あみ



きもちを合わせてふいたよ



じょうずにとべたよ

スイセンの花の咲く学校



打瀬中学校で生活していると、海に近い学校だということを感じます。窓から見る東京湾海面の波の様子から風の強さが分かったり、潮風の香りが元気を与えてくれたり、夕日の美しさが明日への期待を抱かせてくれたりして、多くの恩恵を受けています。

反面、風の強さによるグラウンドの砂ぼこり、潮風による樹木や草花の育ちにくさ、校舎に使われている金属のサビの発生など多くの問題もあります。

ひとつの草花でも植える位置により育つものと育たないものがうまれます。また、植物により潮風に強いものと弱いものとの差も歴然です。私は、房州の生まれです。潮風の強い房州の体験から潮風に強い房州スイセンを学校に植えようと計画しました。実家の

農家から、打瀬中の生徒数と同じ数の球根をもらい6月に植えました。

房州スイセンは早春の花でどのスイセンより早く咲く。植えたスイセンは時期どおりには咲きませんでした。実家の兄に「スイセンが咲かなかった」と話すと「水をかけなかったか」と質問されました。そう言えば水はたっぷりとかけました。

平成9年度の公立高校は、すべての県立高校で「推薦入試」が実施された記念すべき2年目の年です。

スイセンの花の咲く学校にしたいと考えています。

打瀬中から 校長 渡辺 昭





ようこそ

クオリティ・フーズ・マーケット

リンコス・ベイタウン店へ。

旬を彩る新鮮・安心・こだわりの食材が、ご家庭の食卓に花を咲かせます。

有機、無農薬、減農薬
にこだわりました。

「自然のおいしさ」と
「安全性」を求めています。

農薬や化学肥料など石油に依存する化学農業の登場以来、農産物が有機的生産方法によって生産されたものか、石油化学農業によって生産されたものかを区別することが必要となりました。そして1993年4月に、農林水産省が青果物等の表示の公的基準として「有機農産物等表示ガイドライン」を施行。農薬や化学肥料を一切使わない「有機農産物」、有機農産物栽培に切り替え中の「転換期間中有機農産物」、農薬を使わない「無農薬栽培農産物」、農薬の使用回数が従来の半分以上以下の「減農薬栽培農産物」に分類され、それぞれ基準に従って表示が行われています。リンコスでは、野菜、果物はもちろんのこと、コーヒーや紅茶、ナッツ、ドライフルーツまで、「自然のおいしさ」と「安全性」を追求して、有機、無農薬、減農薬にこだわった食材を広く取りそろえています。

お子さまの心身共に
健やかな成長を願って

「優良育児」おやつ菓子シリーズをラインナップ。

小さな子供たちにおやつは欠かせませんが、スナック菓子や清涼飲料水には、脂肪や砂糖が多く肥満や虫歯の原因になるものが少なくありません。そこで、リンコスではお子さまの心身共に健やかな成長を願って、「優良育児」おやつ菓子シリーズをラインナップしました。着色料、保存料など合成添加物は使用せず、エネルギーと砂糖を抑え、塩分控えめ。素材本来のおいしさを生かしました。子供たちの噛む力をトレーニングするお菓子や、不足しがちなカルシウム補給用など、それぞれの商品特長をマークで表示してありますので、バランスのよいおやつメニューが選べます。

ハーブの自然の力で
おしゃれなヘルシー・ライフ

香りのある健康的な生活
ハーブワールド

香りをかいだり、飲んだりすることで体調がよくなる、不思議な力を持ったハーブ。古代ローマ時代から親しまれ、なお現代人の暮らしの中にもさまざまな形で役立っています。たとえば、目覚めにさわやかなミントティー、仕事の合間にひとときのリラックス感を味わうレモンバームティーなど、「ハーブティー」は手軽に楽しめます。また、フローラルポプリやフルーティポプリなど、色合いと香りを楽しむ「ポプリ」。バッグやタンスに入れる「サッシェ」、お風呂に入れて「ハーブバス」、料理やお菓子のかくし味など。生活に香りの彩りを与え、健康と美容に役立つおしゃれなハーブライフをぜひお楽しみください。



リンコス・ベイタウン店

営業時間 AM10:00 ~ PM9:00

〒261-0013 千葉県美浜区打瀬 1-2

